

がん診療拠点病院と連携

岡山労災など 5病院を認定

あす県

県は4月1日、高い

水準の医療を提供する

「がん診療連携推進病
院」に、岡山労災病院

(岡山市南区)や倉敷

成人病センター(倉敷

市)など県内5病院を

認定する。岡山大病院

(岡山市北区)など国

指定の「がん診療連携

拠点病院」に準じるも

ので、患者が医療機関

を選ぶ目安にしてもら

う。

他に認定されるの

は、岡山市民病院(岡

山市北区)、川崎病院

(同)、金田病院(真

庭市)。がん細胞診断

や放射線治療など高度

な治療体制や相談窓口

の整備などを要件に認

定する。

県によると、がん治

療は病院によって技術

差があり、手術後に地

域の病院に移って治療

を続けることは難しい

という。拠点病院と並
ぶレベルの病院を設け
ることで、より質の高
い治療を受けられるよ
うにする。

拠点病院と推進病院
の間で情報共有も図
り、患者の紹介や相互
受け入れを推進。合同
の研修会を開くなどし
て一層の医療水準向上
に努める。

拠点病院には岡山大
病院、倉敷中央病院
(倉敷市)、津山中央
病院(津山市)など県
内7医療機関が指定
されている。

(入野晶彦)